

美しい雲が流れる・・・Poetic sentimental town

信州小諸

城下町&文学のめぐり道 map

- INDEX
- 観光ポイント ● 歴史ポイント
 - 代表的な歴史建築 (★ 食事処等)
 - ▲ 眺望ポイント
 - 小諸宿周辺地区修理修景事業・実施建造物
 - WC トイレ (無料休憩所 無料休憩所)
 - P 駐車場 回 無料駐車場
 - 〽 旧北国街道 (ほっこくかいどう)
 - ⋯⋯ おすすめ散策路
 - ⋯⋯⋯ おすすめ回遊コース (1時間半) (歴史ポイントをつなぐコース。歩く時間のみなら、40分程度です。)
- 小諸駅 → 小諸本陣 → 本陣問屋 → ほんまち町屋館 → 光岳寺 → 許久商店 → 海応院 → 藤村旧居跡 → 大塚酒造 → 大手門 → 小諸駅
↓ (ちょっと足をのびて与良までどうぞ！)
許久商店 ~ 高濱虚子記念館 約10分
- 観光のご案内 観光案内所 0267-22-0568

せせらぎの散歩道 (コースタイム20分)

六供(ろくこ)、田町は、街道を取り巻く寺町。中沢川に沿って歩く古い町並み、緑や石垣、レトロな横のデザインが楽しめます。

長屋門の町並み昔は、この門の中に農具等を入れていた。

六供の清水

虚子の散歩道 (コースタイム20分)

高濱虚子が小諸にいたころ、朝夕に散歩し俳句を詠んだ小径が昔の雰囲気のまま残っています。(明治時代、島崎藤村も「千曲川のスケッチ」でこの素朴な田園風景を描いています) 街道から一歩はいると、お堂や石仏、りんご畑、清らかなせせらぎにいやされる小径があります。坂の上には、虚子の愛した浅間や蓼科の山並みが広がります。

『その馬頭観世音のところから更に岐れた径を行くと、小さな流れに出る。その流れに沿って一軒の水車小屋がある。その水車小屋に住んでる人とはいつからか知合ひになつてその縁に腰をかけて話をする。そこの主人は炬燵の座布団を改めて頻りに「お當りなして」とすすめてくれる。』高濱虚子・小諸雑記より

小諸市都市計画課 0267-22-1700

荒町・寺町エリア

禅宗の寺らしい、くの字型に曲った威厳ある参道。境内には見どころ多し。

荒町

虚子の散歩道

与良・俳句のまちエリア

至澤の家跡 昔、水車小屋があり、虚子がよく訪れた。

野岸田んぼ 美しい田園風景と浅間連峰

八幡神社 野岸小学校 馬頭観世音 御岳神社 与良古墳 大日堂 虚子庵 高濱虚子記念館 裁縫 古い消防ポンプ 与良家 中吉

立科に 春の雲 今うこま 高濱虚子

お堂や石仏など庶民的で素朴な、歴史あるお寺

ちょっと奥まわって、門からそつと建物を見させてもらいます。

個人宅ですので、入れません。

【町歩き的心得】個人のお宅や細い路地は、住む人に配慮して、少しばかり遠慮がらにご覧くださいようお願いいたします。

鍋蓋(なべぶた)城跡。この一画は、戦国時代に作られた小諸初の平山城の跡。江戸時代は、家老の屋敷で、両側には町人地との境の木戸があった。街道を曲げて、城に入りにくくした構造は城下町ならではの。昭和になって、城跡を突っ切って道を通した。

山謙酒造蔵 桑屋(船本陣) 山謙酒造 小諸城の土のい 那須野野菟野草園

白山の酒はしみたほる 秋の夜の飲むべかりけり (若山秋水)

菖水は、二十五年の時 本陣問屋の二階に 2ヶ月間在し、 周辺を散策し、 和歌を詠みました。

浅間橋の影を追ふれ (白田亜波)

白田亜波は、新町に生まれ、白田屋敷の、青木神社の中に碑があります。

本町・藤村エリア

本町は、古い商家の町並みが残り、骨董屋、ギャラリー、呉服屋、味噌屋などをぞいて歩く楽しさもあります。島崎藤村が住んでいた場所もあり、その作品にもこの界隈のことが登場します。

北国街道 ほんまち町屋館 (無料) 味噌と醤油の醸造元だった建物を活かして現在は、地区のコミュニティ施設として様々な催しがある。まちづくりの拠点。有形登録文化財 ★HPあり

・開館時間 4月~10月 9:00~17:00 11月~3月 10:00~16:00
・休館日 月曜日 Tel:0267-25-2770

とうそん

島崎藤村が住んでいた場所 明治32年から6年間、この場所に住んでいました。藤村の家は、今はありません。入口の「藤村旧居地」の碑は、有島生馬の筆です。近くには、藤村夫人が通った井戸もあります。

小諸市役所 WC

小諸病院 映画「男はつらいよ」の舞台となった洋館

小諸市庁舎 小諸図書館 小諸市民会館 コミュニティスペース (4/27年完成予定)

あいおい公園(仮) 建設工事中

小諸相生郵便局 小諸商工会議所会館

小諸相生郵便局

荒町・寺町エリア

荒町は、かつては老舗の大名の並ぶ町でした。今でも町の南よりに、古い建物が点在します。また、通りの奥には海応院などの歴史あるお寺が並んでいます。表通りに面した参道入口(石の門)を見落とさずに、足を踏み入れて、城下町の歴史の緑の豊かさを味わってください。

海応院の参道

小諸病院 通りに面した門の中に、昔の洋館が見られる。

右側の嶋田屋は江戸時代の建物

左の養原邸は明治時代の建物

与良・俳句のまちエリア

与良の魅力は、なんといっても表通りから一歩奥に入った田園風景にあります。旧家としては江戸時代の庄屋や豪農の屋敷があり、小路を歩いているとお堂や石塔に出会えます。城下町の中ではありますが、なんとなく村の風景のような素朴さが感じられるエリアです。俳人の高濱虚子が疎開して暮らしていた家が「虚子庵」として保存され、与良のシンボルとなっています。

高濱虚子 (たかはまきよし)

記念館

虚子庵

- 虚子庵・小諸高濱虚子記念館 虚子は、正岡子規に師事し、新派俳句の俊秀として活躍、俳誌「ホトトギス」を主宰した。戦争中の昭和19年から、3年1ヶ月の間この地に疎開。この家で「緑散歩」を楽しみながら、句作にはげんだという。虚子記念館は、直筆の屏風や日々愛用した品々が展示されている。Tel: 0267-26-3010 開館時間/午前9時~午後5時 休館日/毎週水曜日 入館料 300円(大人)
- こもろ高濱虚子記念公園(無料) 「北国街道与良館」「俳小」「裁縫」小諸城の銭蔵が移築された商家を改修し公園として整備しました。句会にも使える町歩き拠点。Tel: 0267-23-8040

長勝寺参道の石仏はやさしいお顔。

大手門・本陣エリア

本陣問屋

本陣主屋

三の門 国の重要文化財

三の門の重要文化財 全国的にも珍しい城下町より低い穴城で、藤村の「千曲川旅情の歌」に詠われ全国的に有名になりました。苔むした石垣、千曲川の眺望はすばらしく、春の桜、秋の紅葉の名所としても有名です。(料金は裏面を参照)

藤村記念館 大ケヤキ

懐古園 (小諸城あと)

懐古園 天守閣跡 懐古神社 動物園 展望台 千曲川へ至る森の散策路

千曲川が一望

郷土博物館

小諸駅前におく 昭和24年に移築。

千曲川旅情のうた石碑

展望台からは 千曲川が一望

大手門・本陣 エリア

駅周辺は、江戸時代にはお城の中で、駅のすぐ北には立派な大手門が残っています。ここが四の門で、懐古園の入り口には三の門が残っています。北国街道に足をのぼすと、江戸時代の宿場の建物が見られます。

加賀百万石の大名行列も通った街道ぞいには、立派な本陣が残っています。現在、街道沿いにあるのは、荷物の流通のための「問屋」で、殿様の宿となった「本陣主屋(御殿)」は、駅側に移築されています。

- 大手門 (国の重要文化財) 江戸初期の建築。1階は堅牢な門、2階は書院風のつくりで、桃山時代の気風を感じる。2階には、城と門にかかわる展示コーナー。2階公開期間: 4月上旬~11月上旬の土日祝日 8月は平日も公開 10時~15時(無料)
- 本陣問屋 (国の重要文化財) 旧街道沿いに建つ江戸後期の建物。一階の問屋敷の前に馬をつなぎ、荷物の出し入れをした。国内で他に例を見ないほど立派な本陣問屋。未公開。

小諸宿本陣主屋(サロン&ギャラリー)

江戸時代の大名行列の殿様の宿舎だった本陣主屋は、元は街道沿いの本陣問屋の奥に位置していたが、平成8年にこの場所に資料館として復元された。玄関など一部に江戸時代の部材が使用されている。式台、上段の間など貴人を接待する特別なしつらえが見られる。

■ 歴史資料コーナー(歴史資料展示販売)
■ 手仕事ギャラリー(地元作家の作品展示販売)
■ なつまちおもてなしサロン(小諸を舞台にしたアニメ「あの夏で待ってる」、なつまちファンの交流サロン、グッズ販売)

開館4月上旬~11月3日/9時~17時 木曜休館 入館無料 Tel 0267-24-7788 ギャラリーの特別企画案内 ↓ <http://www.komoro-honjin.com/>

● 駐車場ガーデン(カフェ) 300種の四季の花を見ながら、小諸の味が楽しめる。地場産品、園芸品も販売。NPOの運営。木曜定休 9:00~19:00 (10月~3月は18:00閉店) Tel 0267-24-2525 <http://www.t-garden.org/>

城下町めぐりスタンプ

スタンプのマークのある場所にスタンプが置いてあります。4つ集めると観光案内所でプレゼントがもらえます!

那須野野菟院 9時~17時

ほんまち町屋館 9時~17時(全10時~16時)月曜休館

許久商店 日曜祝日休

高濱虚子記念館 9時~17時・水曜日休館

記念館の大きなスタンプを押してください。

プレゼント引換え 観光案内所 電話0267-22-0568 9時~17時

編集・発行: NPO法人小諸町並み研究会 第7版第1刷 2014年11月1日発行 連絡先: NPO法人小諸町並み研究会・事務局 Tel 0267-22-2227 (こもろ・旅カフェ) Fax 0267-26-2078 ホームページ: <http://www.machinami.komoro.org/> 編集デザイン: 荻原礼子